

盛土		藤島	ツバクロ	その他の発生土置き場 (剝石、イタドリ、中ノ宿2、中ノ宿3)
時期	点検			
工事中	日常点検 (作業日毎)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛土、排水設備、沈砂池、緑化苗木の状況を確認。気象情報や地震情報を収集し、必要に応じて雨天に備えた養生等を行う。</li> <li>・沈砂池は堆砂状況により月1回程度の浚渫を行う。</li> <li>・異常を確認した際には速やかに静岡県、静岡市、利水者等へ報告し必要な対応を行う。</li> </ul>		
		—	・設置した地下水位計や間隙水圧計、変位量計を確認する。	—
	緊急点検 (緊急時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨(30mm/h)、地震(震度4以上)が観測された際には、法面、構造物を巡回点検する。</li> <li>・異常を確認した際には速やかに静岡県、静岡市、利水者等へ報告し必要な対応を行う。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生土置き場からの定点観測及びドローン等の使用により、大井川の河道の位置や河床高さの確認を実施する。</li> <li>・仮に変化が確認された場合、河川管理者へ報告し法尻の変状や法尻構造物の根入れ深さ等を確認する。</li> </ul>	・地震時は対岸斜面を目視、ドローン等により確認する。	—
定期点検 (年2回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛土、排水設備、沈砂池、法尻構造物、緑化苗木の点検を行う。</li> <li>・異常を確認した際には速やかに静岡県、静岡市、利水者等へ報告し必要な対応を行う。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生土置き場からの定点観測及びドローン等の使用により、大井川の河道の位置や河床高さの確認を実施する。</li> <li>・仮に変化が確認された場合、河川管理者へ報告し法尻の変状や法尻構造物の根入れ深さ等を確認する。</li> </ul>	・対岸斜面の定点観測、ドローン写真による変位確認を行う。	—	
工事完了後	緊急点検 (緊急時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨(30mm/h)、地震(震度4以上)が観測された際には、法面、構造物を巡回点検する。</li> <li>・異常を確認した際には速やかに静岡県、静岡市、利水者等へ報告し必要な対応を行う。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生土置き場からの定点観測及びドローン等の使用により、大井川の河道の位置や河床高さの確認を実施する。</li> <li>・仮に変化が確認された場合、河川管理者へ報告し法尻の変状や法尻構造物の根入れ深さ等を確認する。</li> </ul>	・地震時は対岸斜面を目視、ドローン等により確認する。	—
	定期点検 (年1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛土、排水設備、沈砂池、法尻構造物点検を行う。</li> <li>・異常を確認した際には速やかに静岡県、静岡市、利水者等へ報告し必要な対応を行う（関連施設の清掃、水抜きポーリングの実施等）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草本類の緑化状況を点検する。</li> <li>・浸出水や放流先河川、観測井のモニタリング等による要対策土の封じ込め状況の変化確認を行う。</li> <li>・発生土置き場からの定点観測及びドローン等の使用により、大井川の河道の位置や河床高さの確認を実施する。</li> <li>・仮に変化が確認された場合、河川管理者へ報告し法尻の変状や法尻構造物の根入れ深さ等を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置した地下水位計や間隙水圧計、変位量計を確認する。</li> <li>・対岸斜面の定点観測、ドローン写真による変位確認を行う。</li> <li>・隣接する大井川の河床高さを確認する。</li> <li>・緑化苗木の生育状況を点検する。</li> </ul>

排水		藤島	ツバクロ	その他の発生土置き場 (剃石、イタドリ、中ノ宿2、中ノ宿3)
時期	頻度			
工事前	四半期に1回	・観測井において、pH、EC、自然由来重金属、水位、水温を計測し要対策土からの流出や浸出水の漏水がないことを確認する。		—
	月1回	・各発生土置き場からの排水放流箇所の下流地点でSS、pH、EC、自然由来の重金属等、流量、水温を測定する。		
工事中	6ヶ月毎	・沈砂池から放流する前の水の水質について、静岡県盛土環境条例に基づく測定項目を測定する。		
	排水前にその都度	・要対策土の浸出水の水質について浸出水処理施設内でSS、pH、EC、自然由来重金属等、水量、水温について測定する。		—
	作業実施日は毎日1回 ※1	・沈砂池から放流する前の水の水質について、自主的な取り組みとしてSSを測定する。		—
	自然災害発生時	発生土置き場下流地点で、自然災害による濁水の影響や水質の変化を確認する。		
	月1回	・観測井において、pH、EC、自然由来重金属、水位、水温を計測し要対策土からの流出や浸出水の漏水がないことを確認する。 ・沈砂池から放流する前の水の水質について、自主的な取り組みとしてpH、EC、自然由来の重金属等、流量、水温を測定する。 ・各発生土置き場からの排水放流箇所の上下流地点(※5)でSS、pH、EC、自然由来の重金属等、流量、水温を測定する。		—
工事完了後	排水前にその都度(将来に亘って継続的に調査を実施) ※2	・要対策土の浸出水の水質について浸出水処理施設内でSS、pH、EC、自然由来重金属等、水量、水温について測定する。 ※4		—
	1回(盛土完了後遅延なく)	・沈砂池から放流する前の水の水質について、静岡県盛土環境条例に基づく測定項目を測定する。		
	月1回(降雨時) ※2	・沈砂池から放流する前の水の水質について、自主的な取り組みとしてSS、pH、EC、自然由来の重金属等、流量、水温を測定する。		
	月1回(将来に亘って継続的調査を実施) ※2	・観測井において、pH、EC、自然由来重金属、水位、水温を計測し要対策土からの流出や浸出水の漏水がないことを確認する。		—
	月1回 ※3	・各発生土置き場からの排水放流箇所の上下流地点(※5)でSS、pH、EC、自然由来の重金属等、流量、水温を測定する。		

※1：作業開始当初は作業実施日に毎日計測することとする。その後天候の変化に伴う排水の変化の状況を確認し、頻度を検討。

※2：工事に伴う影響が収まり測定値の変動が一定の周期に収まる期間まで実施することを想定。変動の収束後も、定期的な確認を実施。

※3：将来の測定頻度や測定期間については、ご意見を踏まえ検討。

※4：浸出水の発生量と並行し、降水量を計測し相関関係の確認を実施。

※5：測定地点については、今後、地域の皆様へ具体的な場所をお示ししながら対話を実施いたします。

動植物調査		藤島	ツバクロ	その他の発生土置き場 (剃石、イタドリ、中ノ宿2、中ノ宿3)
時期	頻度			
工事中	年3回(春季、夏季、秋季)	・各発生土置き場からの排水放流箇所の下流地点で水生生物詳細調査を実施する。 ・動植物の状況に変化が確認される場合は速やかに静岡県および専門家に報告し、盛土工事に起因すると考えられる場合には、必要な措置を実施する。		
工事完了後	年3回(春季、夏季、秋季) ※6	・各発生土置き場からの排水放流箇所の下流地点で水生生物詳細調査を実施する。 ・動植物の状況に変化が確認される場合は速やかに静岡県および専門家に報告し、盛土工事に起因すると考えられる場合には、必要な措置を実施する。		

※6：将来の測定頻度や測定期間については、ご意見を踏まえ検討。